

じゃっと新聞

NO.39 号

発行日：2004.9月17日

発行人：帖佐理子

発行所：じゃっと事務局

〒895-0054 鹿児島県川内市11-20

若松記念病院内

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail jaddo@po2.synapse.ne.jp

<http://www2.synapse.ne.jp/jaddo/>



民族衣装を着ておめかしした子供

【ウドムサイにて】

台風の被害はありませんでしたか。16号、18号と続けて鹿児島に上陸し、特に18号の風は強く川内でも樹木がかなり折れていました。農作物の被害も大きいです。輸入野菜が、さらに増えるのでしょうか。

さて、今回の“じゃっと”総会では、県内の2NGOのお話を聞きました。くすのき自然館の浜本奈鼓さんは鹿児島県の小学校では有名な方です。タイ、ラオスの山の木々の話を聞きました。また、もうひとつのNGO プアンカンの西田さんご夫妻、嶋崎さんご夫妻にタイカレーを作っていただき香辛料のお話を聞くことができました。お話もタイカレー試食も、小学生の子供たちから高校生、大学生とじゃっとにとって、新しい顔ぶれがたくさんみえました。ラオスについて、またタイについて考える時間を持ってもらえたようで、うれしいです。

ヴィエンチャンでは、9月9日に法政大学の学生さんたちのじゃっと視察がありました。Dr.Kongsapからの報告を待ちましょう。法政大学の学生さんたちからの感想、意見もいただき今後の参考にしたいと考えま

す。また、“じゃっと”の事業と直接の関わりは無いのですが、私(帖佐理子)が理事長を務めます若松記念病院では8月からラオスの看護師、ビヤンナリジリさんの実習を受け入れております。来年の1月までの半年間です。彼女はサヤブリ県病院からの派遣で、鹿児島県が請け負っています。毎日ラオス語日本語の辞書を手に、病院のこと、日本のことをたくさん知りたいと意欲的に動いています。12日の川内市市民運動会でも職場対抗リレーに若松記念病院職員として参加しました。彼女にも、“じゃっと”サヤブリのことをもっと知ってもらい、手伝ってもらいたいと思います。

いつの日か“じゃっと”のサポートはもういらない。」とラオスから言われて“じゃっと”が引き揚げる事をめざしています。川内で、日本でそしてラオスで、“じゃっと”の活動が広がれば、発展的撤退は夢ではないと、希望がふくらみます。どうぞ、皆様の周りにも“じゃっと”をひろげてくださいますよう、お願いいたします。
(会長 帖佐 理子)

第12回定期総会の報告

平成15年度事業報告

1 現地事業の実施に関する事項

1-1 ヴィエンチャンVientiane Municipality

担当：Dr. ソムチット

ヴィエンチャン特別市サイセタ郡において21校の50人の教師を対象に学校保健教育セミナーを開催した。内容は「寄生虫（私たちの行動が変われば寄生虫は予防できる。）講師：コンサップ医師」「栄養学（正しい食べ方）講師：ソムチット医師」「タバコの危険：講師：マニパン医師」パワーポイント、LCDプロジェクターを用いて講義が行われ、受講者が興味深くわかりやすく講義を受けることができた。参加した教師の21校へは体育教材を供与した。

健康診断は、ホアクアHouakhoua、ノンバイNouangnoi、シェンダーXiengdaの4小学校、合計対象児童数950名に行った。実際の受診者は850名であった。健康診断の数週間前に学校で予防接種があり、医師が学校に来るとまた注射をされると考えた子供たちが、“じゃっど”の医師たちが学校に到着すると逃げるように帰宅したため。残った駆虫薬、ミルク、文房具は、サムケSamkhe小学校で12月24日に“じゃっど”視察ツアーで現地訪問視察中の“じゃっど”会員により投与された。今回の健康診断と同時に行う健康教育には、医学生を受け入れた。教材は“じゃっど”が開発した紙芝居、絵本を使用した。

担当：吉田いつこリーダー（当時）

昨年度の鉤虫対策（JICA小規模開発パートナー事業）対象校を訪問し、その後の学校保健授業の状況、トイレの使用状況を視察し、昨年度建設したトイレ建物と自転車ポンプのメンテナンスを行った。学校保健教材を作成した。

1-2 サヤブリSayaburi県 担当：Dr. カンマン

2003年1月9, 10日 学校保健教育セミナー開催

参加：小学校15校から教師20名

講師：サヤブリ県公衆衛生局と県病院の医療スタッフ

2003年1月13, 14日 健康診断

対象：ケンKeng村小学校とシムンカンSimungkun小学校の児童約500名

実施：県病院の医師と歯科医師

供与：駆虫薬、健康教育教材としてWHOの健康教育ゲーム、ポスター、文房具

2003年12月4, 5日 学校保健教育セミナー開催

参加：小学校31校から62名の教師、ボーテンBorten郡教育局の担当者

講師：サヤブリ県公衆衛生局とボーテン郡保健課の医療スタッフ

供与：体育道具（サッカーボールなど）

2003年12月3日～6日、

対象：ナコークNakork, ターリンTaling, ムアンカンMuangham, マイポンサイMayponxay, ナサーンNaxane, ナフアサンNahuaxang小学校の児童、計1300名

実施：ボーテン郡病院の医師と歯科医師

供与：健康教育、WHOの健康教育ゲーム、駆虫薬

1-3 ボケオBokeo県 担当：ボケオ県保健局長Dr. ペンシーPhengsy

2004年1月と10月に学校保健セミナー、健康診断（報告がまだ無い。）

2003年12月に“じゃっど”視察団が現地を訪問した。昨年の対象校に案内された。校庭、校舎は清掃されて、トイレもきれいであった。視察団現地到着に合わせてウドムサイからウドムサイ担当者がボケオを訪問し学校保健のモデル授業を行った。授業は、ボケオ県の保健局、

教育局の担当者も参観した。ボケオ県の保健局長Dr. ペンシーは、これまでの“じゃっど”の支援で行った事業が大変よかったので、他の資金で同様の事業を行った。2004年度は“じゃっど”(平和の石基金)で事業を予定している。大変熱心であった。

1-4 ウドムサイ Oudomxay 県 担当：吉田いつこリーダー, Mr. サヤ, Mr. マイ

School visit activity with school health education package in Oudomxay

JICAのKIDSMILEプロジェクトから委託を受け2003年8月～2004年2月末の期間ウドムサイ県で活動を行った。対象は3郡の43校。保健局と教育局の協力を得て学校訪問を繰り返した。前年度開発した絵本、ラジオドラマをウドムサイ地方の少数民族の言葉に訳した。計211名の教師を対象に学校保健教育セミナーを開催した。セミナーを受講した教師が実際に授業を行っている場を訪問しアドバイスした。また、ラオス国保健省、他のJICAのプロジェクト対象郡の担当の活動視察を受け入れた。他の郡への波及を期待されている。

休日に、“じゃっど”独自の活動としてJICA対象外の小学校を訪問し紙芝居による保健教育授業を行った。この活動に保健局、教育局の職員がボランティア参加するようになった。対象校ではない学校の子供たちもすでに、“じゃっど”の衛生の歌を歌っていた。歌で広まる衛生教育である。村人の力で小学校にトイレ建設が始められた。

2 国内

2-1 広報活動

小幡理事：郵政省ボランティア協議会

帖佐会長：加世田小学校、可愛小学校、鹿児島パイロットクラブ

古田理事：九電ユニオン

吉田元リーダー：広島市で“じゃっど”の活動小パネル展示

神崎綾子会員：HP作成、更新

高橋会員：HP更新、HPへの質問の回答

2-2 バザーなど資金調達

ホッピー通り川内かっぱ市主催のホッピー祭りで居酒屋「村役場」立野さんの協力により、チャリティーコンサートを開催。机いす募金5口と寄付46,454円をいただいた

ラオスの物品販売は吉田リーダーが購入、Tシャツプリントなどの世話をを行った。また会員が視察時に購入した。美容室キュアでは常備して販売していただいている。

2-3 視察ツアー

平成15年9月21日～28日(帖佐 理子)

ヴィエンチャン：保健省、ヴィエンチャン保健局、JICA、教育省、医療技術短大

ウドムサイ：保健局、JICA事務所、ラー郡教育委員会、小学校4校、ラー郡で開催したセミナー、サイ郡で開催したセミナー

平成15年12月21日～29日

参加(久木野勲、松永由里子、永吉ゆ希、小幡順子、帖佐理子)

ボケオ：保健局、教育局、2校学校訪問(紙芝居のデモ授業実施)

ヴィエンチャン：学校訪問(駆虫薬供与、机に記名) JICA、

ウドムサイ：保健局、学校訪問(デモ授業、授業参観)



左から、サヤさん、マイさん、松永さん、吉田さん、帖佐会長、久木野さん、左上、永吉さん、右上、小幡さん

全員揃って、ハイ！パチリ

平成15年度会計報告

1、収入の部

前年度繰越	2,365,280
会員会費 (2000 × 157 名・年)	324,000
寄付金 (個人寄付)	346,108
(団体寄付)	711,000
机、いす募金	155,000
JICA事業 (KIDSMILEからの委託)	4,000,000
助成金 (財)ひろしま・祈りの石国際教育交流財団	1,300,000
バザー収入	466,300
受取利息	32
計	9,667,720

2、支出の部

ラオス

JICA事業 (KIDSMILEからの委託)	4,000,000
ラオス活動費	2,984,838
ウドムサイ活動	1,052,782
ビエンチャン活動	448,000
ボケオ活動	258,000
サヤプリ活動	258,000
紙芝居印刷費	500,000
机、いす募金	85,000
バザー用品購入	239,951
ラオス渡航費	143,105
計	6,984,838

国内

通信費	214,976
広報費	56,082
事務用品費	65,557
消耗品費	65,043
会議費	56,399
旅行交通費	96,840
諸会費	50,000
雑費	8,625
雑損失	106,094
計	719,616
支出合計	7,704,454
繰越	1,963,266

会計監査報告

平成15年7月1日～平成16年6月30日の期間のじゃっどの収支決算に関し、会計帳簿とその証拠書類及び関係書類を監査した結果、確かに相違ないと認められましたのでここに報告します。

平成16年7月10日 監事 安部良宣



平成16年度事業計画

国内活動を活性化し、12年目でこれまでを見直す。行う。

1. 組織づくり 国内活動の活性化のために、組織を構築する。活動内容毎に部を設ける。会員各人に、いずれかの部に所属していただく。
2. “じゃっど”設立から12年（一巡り）記念事業

① 記念ツアー2005年7月25日～7月29日

現地の活動を見ていただく。募集予定20名。

ツアー前に勉強会を開く。

机に募金者の名前をツアー参加者がラオス語で記入する。

② これまでの活動記録を1冊にまとめる。

3. 事業の実施に関する事項

3-1 ヴィエンチャン

教師を対象にした学校保健教育セミナー開催。

一開催。健康診断（寄生虫の駆虫薬投与、救急薬品の配布を含む）、文房具供与。学校の建物の補強などに寄付。

学校訪問。これまで建設したトイレ建物と自転車ポンプのメンテナンス。

学校保健教材の作成。

3-2 ボケオ、サニャブリ

教員を対象にした学校保健セミナー、児童を対象にした健康診断と駆虫薬の投与。どちらの県も県の保健課が実施。児童各人が在校中に1度でも健康診断を受けられるようにと計画している。

3-3 ウドムサイ

昨年度ウドムサイで行っていた“じゃっど”の活動校でのフォローアップ。現在KIDSMILEの一員として活動しているMr. マイから状況を聞きながら行う。“じゃっど”としては、ウドムサイでの活動は今年度までとしたい。

フレイクタイム

皆さんご存知でしたか？YAHOOの検索エンジンでじゃっどといれてみると、なんと！上位にランキングされます

ほら！こんなふうに・・・どんどんアクセスしてみてください

Yahoo!登録サイトとの一致（3件中1～3件目）

ボランティア活動 > 国際協力

- ・ じゃっど - アジアの子ども達を支援。活動報告、ボランティア、机、イス等の募集。

ボランティア活動 > 子ども

- ・ じゃっど - アジアの子ども達を支援。活動報告、ボランティア、机、イス等の募集。

鹿児島県川内市 > 生活と文化

- ・ じゃっど - アジアの子ども達を支援。活動報告、ボランティア、机、イス等の募集。

ページとの一致（2334件中1～10件目）

エンターテイメント系専門検索エンジン ■じゃっど■

エンターテイメント系専門検索エンジン「じゃっど」楽しいサイトが見つからないとお嘆きのあなたへささげます！ ... こんなホームページをできたのか？「じゃっど」誕生の秘密 ...

平成16年度予算

1. 収入の部

前年度繰越	1,963,266
会員会費(2,000円× 150名)	300,000
寄付金	300,000
机いす募金(5,000円× 40 件)	200,000
ツアー参加費(1,000 円× 20名)	20,000
バザー収入ほか	116,734
	2,900,000

2. 支出の部

学校保健セミナー(ヴィエンチャン、ボケオ、サヤブリ)	250,000
健康診断(ヴィエンチャン、ボケオ、サヤブリ)	250,000
文房具、スポーツ用品供与	250,000
ウドムサイのフォローアップ	700,000
学校保健教材作成	700,000
机いす作成	200,000
学校補修工事	200,000
ツアー準備(連絡)	20,000
国内	
通信費	180,000
広報費	60,000
事務用品費	20,000
消耗品費	20,000
会議費	10,000
旅行交通費	20,000
諸会費	10,000
雑費	10,000
計	2,900,000

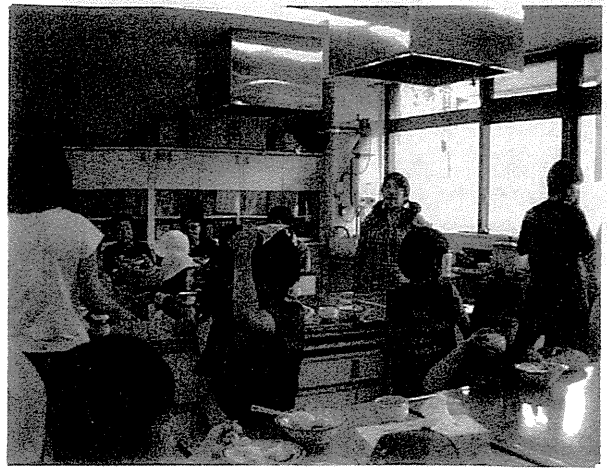
おいしかった！ タイカレー

去る7月24日、「プアンカン」さん指導のもと、定期総会の前に行われた、タイカレーは、大好評でした。

プアンカン:タイ語で「友達同士」という意味を持つ NGO で、文字通り活動に参加する方々がお互いに友達同士になることを目的としたグループです。



↑プアンカン代表の西田泰子さん



ゲーンキアオワーンの作り方(4人分)

(当日食べたカレーの名称です)



鳥もも肉 1枚、なす中2本、にんにく2かけ、バジル20枚
バイマクルート20枚、グリーンカレーペースト25g(半パック)
ココナツミルク 1缶、ナムプラー 適量、砂糖大さじ1、
チキンコンソメ1個、サラダ油大さじ1

- ①熱した鍋に油を入れスライスしたにんにくを軽く炒める。
- ②カレーペーストを入れ、香りが出るまで炒めたら、ミルク缶の上澄みの濃い部分を大さじ3ほど入れてココナツミルクから油が出るまで炒める。
- ③一口大に切った鶏肉、砂糖、芯をとったバイマクルート10枚とバジルを入れて炒める。
- ④鶏肉に火が通り始めたら、残りのミルクとチキンコンソメを入れる 沸騰してきたら、一口大に切ったナスを入れて煮込む。
- ⑤なすに火が通ったら、味見をして、適量のナムプラーで味を調え、残りのバジルを加えてひと混ぜしたら
出来上がり ♪ ♪

浜本奈鼓氏講演(NPO 法人くすのき自然館副理事)

●くすのき自然館:自然と人との素敵な付き合い方を提言し、素晴らしい自然を後の人々に伝えていく環境活動と、自然学校を通じた地域文化活動を主な活動としています。

●浜本奈鼓氏:くすのき自然館の副理事をはじめ、環境省の環境カウンセラー、鹿児島県の景観、環境学習アドバイザー等、また志学館大学の非常勤講師や MBC ラジオのパーソナリティ、執筆活動、など、多方面にわたって活動されています。



7月 24日(土)夏休みで大賑わいの児童クラブの子供たちを引き連れて「開発教育」のお話を聞く事になりました。開発教育？どんなお話が聴けるのか・・・子供たちも、私たち職員も初めての経験で胸がドキドキです。おまけにお話の後には、カレーも食べられるとのことで、楽しみも倍増！「子供さんたちには少し難しいかな？」とつぶやかれる奈鼓さんのお話に耳を傾ける子供たちは、自分たちから遠く離れた場所と人々をイメージするのに一生懸命！あのパワフルな子供たちがよく長い時間聴いていられたな・・・と驚きました。ちよっぴり難しいけれど、何だか大切なメッセージを含んでいるらしいと感じるのでしょうか、このような機会を作ることの大切さを感じました。特にT君が途中で回覧してもらった写真を見て、そっと職員に「(日本には)無い山だね」とつぶやいたのだそうで・・・緑いっぱいの鹿児島島の山と比べて、茶色っぽい感じの山がとても印象的だったのだと思います。

子供たちの様子が気になりつつお話を聞く私自身は、湖のお話がとても心に残りました。豊かな水量の湖が生態系を変えられて、(開発という名の下に・・・しかも悲しいかな日本のティッシュや割り箸の為に植え替えられた)、枯れてしまいそうになり、またまた伐採して本来その土地に植えられていた木に戻す援助をしているとのこと。

聴いていて思わず下を向いてしまいました。自分のことだけ考えてしまう今の私たちの姿が、遠い国

の自然をあっという間に壊してしまう怖さにつながるんだ！とつくづく思いました。地球の環境について私自身何が出来てどう行動するか・・・できることから始めたいと思いますが、子供たちにもいろんな機会を作って具体的に伝えていく努力をしたいと思います。奈鼓さんのお話を聞くこと、違う文化のカレーを食べて、五感で感じる事等、そんな体験がいつの間にか“自分の周りにあるものを愛惜しむことが、きっと遠くの国も大切にすることにつながるんだ”と体で学んでくれると思う貴重な時間でした。有難うございました。

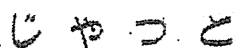
【 田中 律子 】

浜 本氏の提示する雨季・乾季で違う景色の写真に、まず参加者は驚かされた。そして、その変化する緑がさらに開発という名の下にさらに変化、いや退化している事実に、そしてその一翼を日本で暮らす私たちが関わっていた事に参加者は考えさせられていた。

「じゃっど」では、どうしたら多くの人たちが国際協力活動に参加してもらえるのか、いつも頭を悩ませているのだが、浜本氏の言う「直接的」「間接的」国際協力の他に、まず相手の国の事を知ろうとする態度が国際協力の第一歩という言葉は、今後の活動方針の柱にしたいと考える。ティッシュ一つとっても、私たちが他の国とつながっている事に気付いた事だけでもこの講演会を行った価値があるといえる。

【 小幡 順子 】

川内のNGO「JADDO（じゃっど）」



上げた。鹿兒島藩の組織といふことで、鹿兒島藩の「じやう」(家)な。賛成の意味)と名づけた。

「一人でも多くの子供たちが健康に育って、元気に勉強してほしい。そのために何が必要か」。そのことはかりを考へてきた。当時のラオスには、学校保健という概念がなかった。手を洗って食事をすることやトイレで用を足すといったことが、学校で教えられるていなかった。

学校補修、トイレ設置 「三つの衛生」教育も

まず、教師への健康教育や
「ミナー」を開いた。日本から侯
爵國の團長らに派遣して、「三
つの衛生」として①手を洗う
②食物は洗ったり、加熱する
③体を洗い清潔に保つ——を
指導した。また、現地の医師
による健康診断、学校の補修
トイレの設置などの支援活動
を続けていく。

また、「机イス募金」として、九十七年から始めた募金で、小学校に贈った机とイスは約四百セットとなった。「机やイスは足りない状態だが、会員以外からの寄付も多く、確実に活動の輪が広がっている」と手応えを感じている。

現地での活動名は「小さな

機イス募金 J.A.D.D.Oでは、ラオスの小学校に長机とベンチのセット(1セット5000円)を送るため、募金を募っている。1口2500円からで、机には、寄付してもらった団体・個人の名前を入れている。また、同時に会員も募集している。現在の会員数は約240人。年会費は2000円。問い合わせは事務局(0996・27・0193)へ。

鹿児島県
ラオス支援

お医者さんプロジェクト」。子供たちが、先生に教わった衛生に関する知識を兄弟や親に伝える。国全体に浸透すれば、衛生面での生活環境は改善していきそうだ。

こ) 市生ま
んだ。
大に進
内市神
夫の
ため中
夏女と

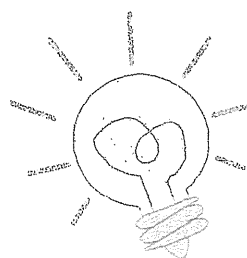
「いや、松本、CDの収録教材を
作製するまで、試行錯誤を繰り返
てくる。」「『理解力』をいかに
上げていくか、と目標を定めてい
る日々が続く。支援のなかで、必
要のない環境が整った証拠だ
から。その日が来るまで、
頭張の続けていきたい」と力ま
強く語った。

仮面洋子さん

帖佐理子（ちょうさ・みちこ）
1954年10月27日、宮崎県小林市生まれ。3歳の時に、川内市に移り住んだ。川内高校を卒業後、東京女子医科大学に進み、現在は、若松記念病院（川内市神田町）理事長で糖尿病の専門医。夫の微々とも医師で、ポリオ根絶のため中国に駐在。現在は、同市若松町で長女と母親の3人で暮らす。

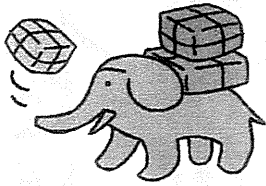
(49) (川内市若松町)は「ラ
オスの子供たちは、純粹でと
てもいい笑顔。様々な職種の
人に参加してもらい、ボラン
ティアの輪を広げていきな

新聞に記事が掲載されるたびに、事務局に電話がなります
記事を見てくださって、賛同してくださる方が
まだまだ、たくさんいらっしゃいます。
ただ、じゃっどの存在を知らないだけ・・・
まずは、身近な人から、じゃっどのことを広めていただくと嬉しいです。



12周年記念 ラオスツアー

2005年7月25日～7月29日



	日付	都市名	時刻	交通機関	行程	食事
1	2005年 7/25	福岡発 バンコク着 バンコク発 ビエンチャン着	12:00 15:20 19:00 20:00	TG649 QV425 専用車	タイ航空にてバンコクへ 着後ラオス航空へ乗り換え ビエンチャンへ 着後日本語ガイドがお出迎えし ホテルへ (ビエンチャン泊)	
2	7/26	ビエンチャン滞在		専用車	終日視察、子供たちとの交流 ラオスダンスと夕食 (ビエンチャン泊)	朝食 昼食 夕食
3	7/27	ビエンチャン滞在		専用車	終日視察、村人たちとの交流 日本料理の夕食 (ビエンチャン泊)	朝食 昼食 夕食
4	7/28	ビエンチャン発 バンコク着	17:00 18:00	専用車 QV415	施設視察、観光後、空港へ ラオス航空にてバンコクへ 着後タイ航空にて福岡へ (機内泊)	朝食 昼食
5	7/29	バンコク発 福岡着	00:50 08:00	TG648		

➤ お一人様旅行代金概算 138,000円（10名様以上参加の場合）

➢ ご旅行代金に含まれるもの：航空運賃、宿泊費（2人一部屋）、専用車代（4日間）、日本語ガイド代（4日間）、朝食3回、昼食3回、夕食2回

➢ ご旅行代金に含まれないもの：福岡空港使用料、航空保険料、現地空港諸税、ラオスビザ

➢ ※航空運賃、スケジュールは今年の7月の条件を基にしております。

➢ ※現地費用は1ドル＝110円で計算しております。

➢ ※行程は予定ですので、変更があることもありますので、予めご了承ください。

会員で無い方は、入会していただくことを前提としますので、宜しくお願いします。

◆◆◆ じ ゃ っ ど 事 務 局 だ よ り ◆◆◆

新規会員・ご寄付 (2004 年 7 月～2004 年 8 月)

感謝の気持ちとともに、ご支援ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきます (以下敬称略)

■新規会員

山下矣礎子、今塩屋裕一、柴こうこ (川内市)、瀬筒勝二 (鹿屋市) 塚田ともみ (鹿児島市)

■平成 15 年度会費

河野通子 (出水市)、馬場寛利 (鹿児島市)、若田吉朗 (川内市)

■平成 16 年度会費

神崎侯至、神彰男、湯之谷チエ子、浦島博文、山下矣礎子、増岡淳子、牧田弘子、宮脇美智子、内田耕也、安部良宣、牛ノ浜妙子、関隆子、矢野千鶴子、新原千恵子、安藤ツギエ、(株)ハートフル、外薗龍子、瀬戸山弘子、川田篤子、古田宣稔、松永良恵、矢野信之、今塩屋裕一、川畑善照、愛甲明実、田中律子、川南順恵、仮屋洋子、本田文男、田中英世、辛島芳子、松元邦明、森卓朗、木場吉彦、橋口正美、橋口喜久、若松裕子、梅木多津子、安永健次郎、田畑福男、松下忠洋、松下章子、南修、南恭子、若田吉朗、小倉邦子、三本釈世、渡辺裕子、帖佐徹、帖佐理子、木原兼博、山陸裕康 (川内市) 小城光子、小城尚文、上野昌子、松下友美、柴こうこ、(薩摩郡)、中村睦子 (有明町)、東香代子、桑原美智子、納光弘、松元美津子、豊平修、馬場寛利、米山晃代、馬場ナオミ、福田弘子、塚田ともみ、森岡芳子、帖佐久子 (鹿児島市)、上原憲一 (出水郡) 河野通子、中村律子 (出水市)、中馬美智、小幡順子 (日置郡) 松本貞治、和地平十郎、松元力、木場真一、長崎綾子、国田宏、高橋栄子、大熊昭晴、大熊京子、阿部雅昭、阿部貴美子、堀内恵子、青山一正、小林義郎、宇津木和子、茂木隆、茂木純子 (東京都)、小濱泰昭、小濱千枝 (仙台市) 西陸夫、姫野治子、横林宙世 (福岡県)、鮫島久志、鮫島節子、鳥山信子、前原よし、(千葉県)、松永由里子、神田安代、松永武志 (阿久根市)、田辺ツル子 (揖宿郡)

高野真綾、斎藤洋史、森田由夫 (埼玉県)、瀬筒勝二、小手川清隆、(鹿屋市)、飯尾茂樹、有川清猛、尻無浜むつみ、浅井万里子、高橋真弓 (串木野市)、隈元郁子 (始良郡)、岩本由美 (広島県)、上原憲一 (出水郡)、川添恵、本渡裕子、中村武 (佐賀県)、中村安秀 (大阪府)、西村洋子、岩崎岩男 (熊本県)、熊谷銀次郎 (兵庫県) 鈴木琴子 (茨城県) 望月明子 (神奈川県) 鎌田到 (北海道) 高木史江 (富山県)

■寄付金

松永武志 (阿久根市)、城ノ下順子、川内ローターアクトクラブ、川畑善照、本田文男、橋口喜久、若松裕子、帖佐理子、(川内市)、松元力、小林義郎、青山一正、長崎綾子、大熊京子 (東京都)、高野真綾 (埼玉県)、飯尾茂樹 (串木野市)、松元美津子、塚田ともみ、(鹿児島市)、西村洋子 (熊本県)、姫野治子 (福岡県)、

■大口寄付金

若松記念病院(12 万 6 千円)、知識正論 (10 万円)

■机、いす募金

安部良宣、宮脇みち子、川内ローターアクトクラブ、山本澄子、(川内市)、松永由里子 (阿久根市)、長崎綾子、高橋栄子、(東京都)、上原憲一 (出水郡)、西村洋子 (熊本県)、

■バザーに協力いただいた方

7 月 24 日 向田公園夏祭り: 古田宣稔、小幡順子、増岡淳子、宮脇美智子、帖佐茉莉花、帖佐理子、若松裕子、松下友美、仮屋洋子、柴こうこ、神崎絢子

8 月 15 日 ホッピー通りチャリティコンサート: 古田宣稔、小幡順子、若松裕子、帖佐理子

■タイカレーのお手伝いをいただいた方

愛甲朋実、濱田愛子、伊東ひとみ、蔵元ルミ、増岡淳子、宮脇美智子、柴こうこ、田中律子、久木野恵

■委託販売 仮屋洋子 (Cuir Hair)

■新聞作成 神崎侯至、宮脇美智子、高橋真弓

*振込会費等、自動引き落とし入金をいただきました方には領収書を同封してあります。

【国内活動】

- 7月23日(木) 九州電力生活協同組合鹿児島支所訪問
7月24日(日) 第12回定期総会、タイカレー試食、浜本
奈鼓氏卓話向田公園、夏祭りバザー参加
8月6日(月) 読売新聞取材
8月7日(土) 鹿児島ミュージックフェスティバル
第2部交流会にパンフレット参加
8月12日(月) ホームページ更新勉強会
8月15日(日) ホッピー通りかつば市チャリティコンサ
ートバザー参加
8月24日(火) 東南ロータリークラブにて 会長卓話
8月28日(土) じゃっど活動日

■■■編集後記■■■

※晴天続きで水不足の感がある総会の日であったが、開始
2時間くらい前にバケツをひっくり返したようなドシャ
降りでした。じゃっどの日頃の行いがいいのか総会の時
間にはカラット晴天に。本年度事業も晴天であれ！
(KAMI)

※総会の日、午前9時から午後9時まで、一日ががりの
イベントでした。川内市内の会員にもっと多くの参加が
ほしかったです。汗をかきながら活動して下さった
方々有難うございました。(M,M)

※朝晩少しは秋らしくなってきました。食欲の秋です！
でも、主婦の皆さん 野菜が異常に高くありません？
(はいぶりっじ)

《平成16年度(平成16年7月1日～平成17年6月30日)会費納入のお願い》

ラオスの子供たちが元気に学校に行けるように、お手伝いくださいませんか？

※ 引き続き会員継続の程お願いいたします。じゃっど新聞38号で、振込用紙を同封しました
宜しく願います。年会費2000円です。

①郵便振替：口座番号 02050-2-4746

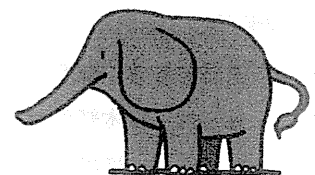
②現金：895-0052

鹿児島県川内市神田町11-20 若松記念病院内

じゃっど事務局 へ現金書留か、直接お持ちください。

※ 机、いす募金(1口2500円、2口5000円)募集中です。

*** 新規会員募集中 年会費2000円**



募集中 10月30,31日、純心大学祭にバザー参加します

お手伝いいただける方は、事務局まで！

【訂正とお詫び】じゃっど新聞38号P6で、ラオスの結婚式に参加されたのは、中村睦子さんでした。
定期総会の資料の2-2の机いす募金と寄付を訂正に代えてお詫びさせていただきます